

教育だより

News for Education  
OITA

## おおいた

<http://kyouiku.oita-ed.jp/>No.74  
2012  
SUMMER

特集

## 中学校で新学習指導要領開始

すぐにわかる新しい学習指導要領のポイント  
武道必修化の実施に向けて

シリーズ

「大分の顔」第2弾  
村山富市元内閣総理大臣に聞く

トピックス

インター・ハイ地元開催まであと1年  
え？小学校の先生が幼稚園に？  
(小1プロブレム解消に向けて)みんなで行こう今年の夏休み  
各教育機関から  
夏休みのイベント紹介

お知らせ

夏休みに向けてのお知らせ

編集・発行  
大分県教育庁教育改革・企画課  
大分市府内町3丁目10番1号  
TEL097-506-5421  
E-mail oitaed@pref.oita.lg.jp

平成24年7月13日



# 特集 中学校で新学習指導要領による授業が始まりました

昨年度の小学校に引き続き、中学校では今年度(平成24年度/2012年度)から新学習指導要領による授業が実施されています。今回の特集では、新学習指導要領の改訂のポイントについてQ & A形式でお伝えします。

## Q1 新しい学習指導要領では、授業時数が増えると聞きましたが、どれくらい増えるのですか？

**A** 各学年の授業時数が週あたり1時間増えます。昨年度まで、中学校3年間で2940時間だった授業時数の合計が、3045時間になります。

授業時数の増加は、「詰め込み教育」への転換ではありません。右のような学習を充実させていくために授業時数が増えています。

■つまずきやすい内容の確実な習得を図るための繰り返し学習。

■学んだ知識・技能を活用する学習。(観察・実験やレポート作成など)

「ゆとり」か「詰め込み」かではなく、基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する思考力・判断力・表現力の育成との両方を大切にしています。

## Q2 具体的にはどのような学習内容が充実するのですか？

**A** ■思考力・判断力・表現力を育みます。

各教科等の学習の中で、言語の力を使って、経験したことを記録・報告する活動や情報を分析・評価し、論述する活動、個人や集団の考えを発展させる活動などを進めます。

■理数の力を育みます。

数学では、大切な内容を繰り返し、学習したことを実生活に生かす学習を、理科では、科学的な見方や考え方を育てるために、観察・実験を充実させます。

■伝統や文化に関する教育を充実します。

身近な地域の歴史、唱歌、武道など、伝統や文化についての学習を進めます。

■外国語教育を充実します。

聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4技能をバランスよく育成します。

■道徳教育を充実します。

規範意識、自他の生命の尊重、社会への主体的な参画などについての学びを充実します。

■体験活動を充実します。

社会性や豊かな人間性を育むため、職場体験活動などを充実します。

■健やかな体を育てます。

様々な運動に触れる機会と健康・安全に関する学習を充実します。

■社会の進展に対応した教育を行います。

持続可能な社会を作ることの重要性、消費者としての権利と責任、情報の活用とモラルなどについての内容を充実します。



## Q3 家庭や地域社会が行っていくことは何ですか？

**A** 子どもたちの教育は、学校だけで行われるものではなく、「生きる力」を育むためには、家庭・地域・学校が相互に連携しつつ、社会全体で取り組むことが不可欠です。

①家庭で育む「生きる力」。

家庭教育は、全ての教育の出発点です。

「いつも家族で『おはよう』『ただいま』『おやすみ』などのあいさつをする」、「毎日朝食を食べる」、「学校での出来事について子どもと話す」、「お手伝いの習慣をつける」「親子で話し合って、テレビやゲームの時間などルールを決める」など、子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図ることが大切です。

②地域との連携により育む「生きる力」。

子どもは保護者や教員だけでなく、多くの大人と触れ合っ様々な力を身に付けます。

地域住民や保護者など様々な立場の方が、「ボランティアとして学校の教育活動を支援する」、「放課後等に安全な子どもの居場所を設け、学習や体験活動や地域住民との交流の機会を提供する」など、地域ぐるみで子どもの教育に取り組む環境づくりをしていくことが重要です。



中津市立三郷小学校での学校公開日の様子

# 中学校武道必修化

中学校の保健体育の授業において武道が必修となります！そこでよくある質問に答えます。

## Q1 中学校で武道を必修としたのはなぜですか？

**A** 生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する視点から、多くの領域の学習を十分に体験させた上で、それらをもとに自らが更に探求したい運動を選択できるようにすることが重要です。このため、中学校1年・2年でこれまで選択必修であった武道とダンスを含めすべての領域を必修とし、3年から領域選択を開始することとします。また、武道の学習を通じて、我が国固有の伝統と文化に、より一層触れることができるようにします。

体育・保健体育の学習内容

小学校			中学校		高等学校		
1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3年	入学年次	次の年次	それ以降
様々な動きを身に付ける時期			多くの運動を体験する時期		少なくとも一つのスポーツに親しむ時期		
体づくり運動			体づくり運動		体づくり運動		
器械・器具を使った運動遊び	器械運動	器械運動	器械運動	器械運動	器械運動	器械運動	
走・跳の運動遊び	走・跳の運動	陸上運動	陸上競技	陸上競技	陸上競技	陸上競技	
水遊び	浮く・泳ぐ運動	水泳	水泳	水泳	水泳	水泳	
表現・リズム遊び	表現運動	表現運動	ダンス	ダンス	ダンス	ダンス	
ゲーム	ゲーム	ボール運動	球技	球技	球技	球技	
			武道	武道	武道	武道	
			体育理論	体育理論			
保健領域			保健分野		科目保健		

## Q2 伝統や文化に関する教育ってどんなこと？

**A** 国際社会で活躍する人材の育成を図るため、我が国の郷土や文化について理解を深め、そのよさを継承・発展させるための教育を充実します。具体的には、古典に関する指導(国語)、文化遺産や各時代にける文化の学習(社会)、唱歌や和楽器(音楽)、地域の食文化や和服の着装(技術・家庭)、武道(保健体育)などです。

## Q3 武道ではどんな種目を行うの？

**A** 中学校の保健体育の授業では、柔道、剣道、相撲のうちから1種目を選択して学習します。なぎなたなどその他の武道を行う場合は、示された柔道、剣道、相撲のいずれかを行った上で学習することとなっています。県下公立中学校(全132校:県立中学校を除く)の実施予定種目は次のとおりです。

	柔道	剣道	相撲
学校数	75	52	8
割合(%)	56.8	39.4	6.1

(※H24.4月調査 一部複数種目実施あり)

## Q4 武道の良さってどんなところ？

**A** 武道は、我が国固有の文化であり、相手の動きに応じて、基本動作や基本となる技を身に付け、相手を攻撃したり相手の技を防御したりすることによって、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことのできる運動です。

また、武道を学ぶことによって、礼に代表される伝統的な考え方を理解することが期待され、相手の動きに応じて対応する中で、相手を尊重する態度がはぐくまれることも期待できます。



## Q5 柔道が危ない!? 体育の授業は本当に大丈夫？

**A** 初めて「武道」の授業に取り組む学校もあり、特に「柔道」は危険ではないのかといった不安の声もありますが、指導体制を整備し、生徒の状況をしっかり把握した上で、無理のない指導計画で、安全に十分配慮すれば事故を回避することができます。

武道は、これまでも県内の多くの中学校で行われてきており(昨年度実績86%)、これまでの経験と実績をもとに安全に配慮しながら、さらに授業の充実を図っていきます。

県教育委員会では、指導する先生方に対して、講習会等で安全面を重視した指導を重点的に取り扱っており、いきなり初心者同士が組み合うようなことがないよう、受け身などの基本動作や基本となる技が段階的に身に付くように、きめ細かく指導することとしています。

また、文部科学省が作成した柔道の事故防止に向けた安全指針を参考にして安全指導の徹底を行うとともに、外部人材(各連盟講師等)の活用事業を市町村教育委員会へ紹介するなど、柔道の授業が安全に展開されるよう今後も継続した取組を行っていきます。



柔道の指導者講習会の様子

シリーズ  
第2回

# 大分の顔



## 第81代内閣総理大臣 村山富市

- 1924年 大分市浜町に生まれる
- 1938年 高等小学校卒業後、上京
- 1946年 明治大学専門部政治学科卒業
- 1955年 大分市議会議員に当選(2期)
- 1963年 大分県議会議員に当選(3期)
- 1972年 衆議院議員に初当選(8期)
- 1993年 社会党中央執行委員長
- 1994年 第81代内閣総理大臣
- 1996年 首相退陣(1月)
- 2000年 政界引退

### 子ども時代について

11人兄弟の8番目でね、男8人、女3人の6男坊。父親が漁師だったから、いりこを運んだり家の手伝いもしていた。小学校の6年生になると船に乗って網を引いていた。学校ではあまり勉強はしていなかったかな。6年生の時に何を間違えてか受験組の模擬試験を受けたんだけど、張り出された成績順位が最下位でね。なんぼなんでもこれでは…という気になってね、そこから奮起して頑張った。高等小学校に行ってからクラスで3番を下ることはなかった。自分なりに、やる気になってやればできるんだという自信めいたものができた。誇らしい気持ちにもなった。生きる上での自信になったのがよかった。東京の工場で募集があって、友だち2人で上京した。14歳の時のことで、住み込みで勤めた。小さな町工場でね、一緒に行った友だちは半年で辞めて大分に帰った。ぼくも帰ろうかと思ったけど、負け犬として帰ったらみっともないと思って、次に印刷所を紹介してもらった。5時半くらいに仕事が終わるので、夜がもったいなくてね。学校に行かせてほしいと交渉したら、社長が「若いうちは勉強した方がいい」と言ってくれた。そこで東京市立商業学校の夜間部に入れてもらった。学校も出してくれたし、いい職場だった。そこに明治大学出身の人がいてね。明治大学に行けと言われて、夜間部を受けたら受かった。「至軒寮」という寮で生活をした。そこでいろいろな大学の学生と議論をしたり、素晴らしい先輩と出会えたことが、自分のそれからの生き方に大きな影響を与えた。

### 巡り合わせの人生

大分に帰って、市議会議員選挙に出よと言われてた。無理だと断ったけど出るようになって、メ

子どもたちに夢や希望を持ってもらうため、大分県出身の各界著名人にインタビューするシリーズ「大分の顔」。なんと大分県から唯一、総理大臣になった人がいます。シリーズ第2弾は、第81代内閣総理大臣「村山富市」さんです。88歳となった今も、大分市で元気に過ごされています。村山元首相のご自宅におじゃましました。

このインタビューのようをぜひ動画でもご覧下さい。大分県教育委員会のホームページからアクセスできます。携帯電話やスマートフォンからもご覧いただけます。  
(<http://kyouiku.oita-ed.jp/>)

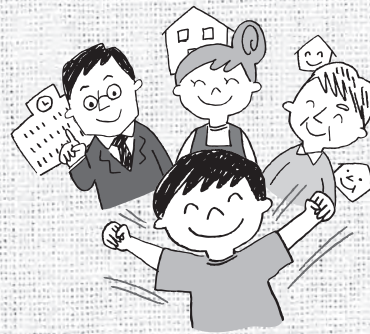
## INTERVIEW

ガホン持って銭湯に行って演説した。落選した中では票を取った方だった。次の選挙で市議になったけど、今度は県議会に空席ができて、おまえがやれとまた言われて、出たら県議選に当選。県議9年目に、国政に出よということになって、誰も出るものがないくてね、出るようになった。国会議員としてまあ70歳まで全うしよう、と思っていたら、今度は党の委員長をやってくれと言われた。

ある日、演説を終えて新幹線の待合室にいたら、ある男が入ってきた。よくテレビで見る顔だけど、名前が出てこない。向こうはこっちを知っている。「村山さん大変ですね」と言うから、「巡り合わせで、思いもよらんことになってしもうて…」と私が言うと、「巡り合わせというのは人生誰にもありますよ。でもね、そこから逃げたらだめ。真っ向から立ち向かって、乗り越えていかなければいけません。乗り越えたらまた新しい世界が見えてくる、それが人生です。」なるほど、いいことを言う人だな、と思って、彼が行った後、駅員さんに「さっきの人は誰?」って聞いたら、「フランキー堺」だと言う。もう死んだけどね。委員長をやったら半年後に今度は総理大臣をやってくれ、と言う。それも偶然。自民・社会・新党さきがけ三党で首相を誰にするか?を話し合ったときに「村山がいい」となった。ぼくは「ダメだ」と言った。大臣の経験もない、与党の経験もない、九州の田舎からのこのこ出てきた自分が、総理大臣なんてとんでもない。無理だ。徹頭徹尾反対した。最初に説得に来たのは現在の東京都知事の石原慎太郎だった。「話だけでも聞いてくれ」と言うから、「聞いても意味がない。気がないんだから。」と言って断った。最後まで話の決着がつかないまま、本会議を迎えた。投票したら、なんと自分の得票が一番多かった。投票が終わるまでまさか自分が首相に指名されるとは思ってもみなかった。いつまでも「しょうがねえ」ではしょうがないから、「腹を決めてやるしかない」と切り替えた。自分の人生を振り返るとね、自分の意志に関わらず、たまたまそういう場面に出くわして、そしてやらざるをえなくなって、やることになったことばかり。でも、自分の意志で受けた以上は、やはり自分の意志で決めたことになる。一生懸命やらにやいかんと思ってやってきた。巡り合わせの人生だった。

### 子どもたちへのメッセージ

大学生は「学生」といって、つまり「生きることを学ぶ」わけ。それに対して高校生までは「生徒」といって、漢語で「いたづらに生きる」と読める。つまりやりたいことは何でものびのびとやれ、ということだ。おもいっきりいろいろなことにおおらかな気持ちで挑戦してほしい。友だちも大事にしてほしいね。弱い者には手を貸してあげる。県内のある小学校で講演したことがあって、その後に送られてきたアンケートの回答に、「僕が二人目の総理大臣になる」というのがあってね。こんな、ぼくのような劣等生でもなれたんだから(笑)。夢を持つのはいいことだ。



### 大人たちへのメッセージ

おおらかな気持ちを持って子どもを育ててほしい。やれ塾だ、やれ良い大学だというのはどうかな。子どもへの期待が大きすぎるのかなあ。子どもがかわいそうな気がする。

学力も高いに越したことはないが、神経質にならず心身ともにたくましい子どもの育成に、おおらかな気持ちで努めてほしい。われわれの頃は、社会が地域の子どもの育てていた。悪いことをすると親から「そんなことすると学校の先生に言うよ!」とよく言われてた。それくらい学校の先生に存在感があった。今は、保護者も何かあると、学校には直接言わず、県教委に言う。県教委は学校を叱る。それではだめ。言い分は学校で受け止めるべき。今は子どもを叱りきる人がいない。先生も生徒を下手に叱ると、親から苦情が来るから、「君子危うきに近寄らず」。親も子どもを叱りきれない。社会も知らん顔。原因は一つだけでなく、いろいろな要素がからみあってそうなるんだろうね。

先生が信頼されることが大事。親も自分の子どものことばかりでなく、社会全体を見据えて先生方と接してほしいな。



## 「2013 未来をつなぐ 北部九州総体」

### ～高校生活動の愛称が「北部九州 join! joy!」に決定しました!!～

**開催期間**／平成25年7月28日(日)～8月20日(火)

**総合開会式**／平成25年7月28日(日) 大分スポーツ公園大分銀行ドーム

6月14日の第2回大分県高校生活動生徒実行委員会で、高校生活動の愛称が決定しました。愛称は芸術緑丘高等学校佐々木麗さんの作品「北部九州 join! joy!」です。

北部九州総体開催まで、あと1年となりました。この愛称のもと、大分県の高校生が力を合わせ、大会を成功させましょう。

各学校、各地区の活動は大会HPで紹介しています。

<http://www.2013soutai.jp/>



【第60回大分県高等学校総合体育大会総合開会式での広報活動】



<大分県高校生活動生徒実行委員会委員>

	名前	学校名
委員長	仲元 彩華	大分鶴崎高等学校
副委員長	上田 航之祐	大分東明高等学校
副委員長	関 菜緒	大分工業高等学校
委員	今村 紗由美	大分高等学校
委員	左甲斐 義之	別府商業高等学校
委員	大塚 佳奈	杵築高等学校
委員	宮崎 悠	日出陽谷高等学校
委員	大窪 美海	宇佐高等学校
委員	磯野 香織	高田高等学校
委員	青木 亮太	柳ヶ浦高等学校
委員	長尾 真優	森高等学校
委員	梅山 洋平	日田高等学校
委員	井端 菜名	日田三隈高等学校
委員	渡邊 舞子	竹田高等学校
委員	染矢 麻由	三重総合高等学校
委員	衛藤 鮎有姫	三重総合高等学校久住校
委員	吉野内 夏海	佐伯鶴城高等学校
委員	大塚 蘭	臼杵高等学校
委員	足立 光音	野津高等学校



#### 仲元委員長のことば

関わった全ての人笑顔になり、『大分で開催されて良かった』と思えるような大会を、生徒実行委員会のみならず県内の高校生と一緒に創っていきたく思います。そのためにも自分自身が笑顔を絶やさず活動や運営を頑張っていきたいです。



【各学校による地域での広報活動】



臼杵高校

高田高校

大分東明高校

日田高校・日田三隈高校・日田林工高校

大分東高校

## ～小1プロブレム解消に向けて～

### 公立小学校教諭幼児教育施設派遣研修報告

教職に就いて以来小学校しか経験のない私が、幼稚園という職場に足を踏み入れ1年間研修するという事は、とても大きな決断となりました。しかし、職場のスタッフに恵まれ、充実した研修のスタートとなったことに何より感謝しています。

この研修は、幼児教育に関する理解や幼保小の連携を進めることなどを目的としています。1年間、近隣の保育所(園)を含めた幼児教育施設で、小学校就学前の子どもたちの育ちを間近で学ぶことができる貴重な期間です。この研修を通して、幼児教育から小学校教育へのスムーズな接続をめざした教育内容や指導方法について、また、交流活動を含む幼保小の連携のあり方等について提案ができるようになりたいと思います。

幼稚園と小学校との違いで一番感じたことは、「時間の単位」です。45分の授業時間を単位とした小学校の生活に対して、幼稚園は大きなねらいと活動計画の中で、1日を単位として活動を進めています。遊びの活動では、単に自由に遊ばせているのではなく、子どもたちが安心して遊ぶことができるように遊具や用具を用意して、遊びの様子に応じて、場の広さや遊び道具の数を調節して、幼児が十分に遊べる環境を常に考えてつくっています。

例えば、砂場遊びを始めた子どもが、スコップがあるといいなあという気持ちになった時に、砂場遊びの道具を出して他の子どもたちにも紹介

します。幼稚園の先生方は、子どもたちをいつも注意深く観察しながら、機を逃さず遊びの環境をつくっています。そのような環境の中で遊ぶ子どもたちは、常に遊びを発展させながら、生き生きと新しい発見をしています。

子どもたちは日々成長しています。その変化をよく見て、活動内容や教具の種類を柔軟に変えていながら、子どもたちが興味をもって活動できるように工夫をすることが大切だと改めて感じています。子どもたちと一緒に、私自身も柔軟に学び続ける1年にしたいと思います。

(中津市立豊田小学校 山口善子)



# みんなで行こう今年夏の夏休み

## 集まれ! アドベンチャー・キッズ

夏休みにしか体験できない4泊5日のキャンプを実施します。大学生スタッフとともに小・中学生で構成するグループで共同生活し、さまざまな体験活動とおして、社会性や規範意識、協力することの大切さなどを学びます。海に沈む夕日や満天の星空なども、子どもたちの参加をお待ちしています。

- 実施期間 / 8月22日(水)~26日(日)4泊5日
- 対象者 / 小学校5年生~中学校3年生(定員36名)  
※応募者多数の場合は抽選
- 参加費 / 8,000円(予定) ■申込締切日 / 7月27日(金)
- 問い合わせ先 / 県立社会教育総合センター香々地青少年の家  
〒872-1202 豊後高田市香々地5151  
TEL 0978-54-2096



キャンプ場での野外炊飯「カレーづくり」  
海でのいかだ体験「いかだレース」

## 平常展Ⅲ 特集展示 「おおいたの日本画」

おおいたの日本画の歴史をたどる旅、明治から現代へ。

明治になると日本画は、西洋から入ってくる新しい絵画表現の影響を受け、大きな変革期をむかえます。今回の特集展示では、明治から現代までの大分の日本画の流れを、福田平八郎、高山辰雄らをはじめとする代表的な作家たちの作品でたどります。



福田平八郎《朝顔》1926年

- 会期 / 8月21日(火)~9月9日(日)
- 観覧料 / 一般:200円 / 高大生:100円 / 小中生:無料
- 問い合わせ先 / 県立芸術会館  
TEL 097-552-0077

## ワークショップ 「モザイクであそぼう」



- 実施日時 / 8月4日(土) 13:30~15:00
- 対象者 / 県内在住の3歳~15歳(中学3年生)まで20名
- 参加費 / 無料
- 募集期間 / 7月20日(金)必着
- 問い合わせ先 / 県立芸術会館 TEL 097-552-0820(担当:池田・首藤)

## ~見つけよう!子どもたちへのメッセージ~ おおいたの先哲

小学生以上の子どもさん向けの展示「おおいたの先哲~見つけよう!子どもたちへのメッセージ~」を開催します。今年度は「先哲の夢・目標」をテーマに①大分出身の大友宗麟、②日田出身の広瀬淡窓、③佐伯出身の矢野龍溪の生き方を史料や写真・パネルなどを使ってわかりやすく展示します。夏休みの自由研究の参考になる先哲の解説なども行う予定です。



①大友宗麟像 ②広瀬淡窓 ③矢野龍溪

- 実施日時 / 7月14日(土)~8月26日(日) 9:00~17:00
- 休館日 / 第1・3月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
- 対象者 / 小学生以上
- 参加費 / 無料
- 問い合わせ先 / 県立先哲史料館 TEL 097-546-9380(代表)

## 子ども読書講演会 「手を伸ばせば、そこに本がある」

- 場所 / 県立図書館
- 講師 / 肥田美代子氏 (童話作家、文字・活字文化推進機構理事長)
- 実施日時 / 8月9日(木) 14:00~16:00(開場13:30)
- 対象者 / 子ども読書に関心のある県民 200名
- 参加費 / 無料(事前申込み必要)
- 募集期間 / 8月1日(水)必着
- 問い合わせ先 / 大分県教育庁社会教育課  
TEL 097-506-5526  
FAX 097-506-1798



肥田美代子氏

## 少年少女科学体験スペース



好評に覚え

身近な自然現象の謎を解き明かそう。

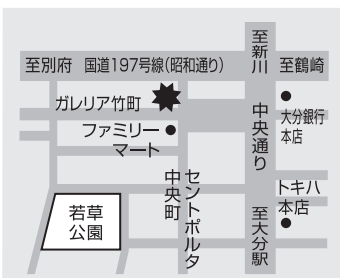
## リニューアルオープン!!

先端技術に触れてみたい。

夏休みの自由研究のヒントにしよう。

今年3年目を迎えるO-Labo(オーラボ)、体験内容をより一層充実して、平成24年6月30日(土)にリニューアルオープンしました。

気軽に身近な科学に触れてみたい人、夏休みの自由研究のヒントを探している人は、「O-Labo(オーラボ)」へ!



- 設置期間 / 平成24年6月30日(土)~平成25年3月3日(日)  
夏休みは休館日(原則火曜日)を除き毎日開催
- 開館時間 / 10:00~16:00 ■設置場所 / 大分市中央町岩尾洋装店ビル1F
- 対象者 / 主に小学校4~6年生を対象としますが、小学校低学年や中学生も利用可能です。(小学3年生以下の児童は保護者同伴でお願いします)
- その他 / O-Labo(オーラボ)の情報は、HPで公開しています。  
<http://o-labo.net> (または<http://www.machinaka.info/o-labo>)  
事前申込み(予約)が必要です。上記HPにて申込み方法をご確認の上、FAXまたはメール・電話にて申込み下さい。(申込み先/FAX・TEL:097-574-5619)
- 問い合わせ先 / 大分県教育庁社会教育課 TEL 097-506-5526

参加費 無料

## 企画展「宇佐海軍航空隊と大分の戦争」

多くの戦争遺跡が遺る宇佐で、戦争と平和を考えてみませんか!太平洋戦争末期には特別攻撃隊の出撃基地となった宇佐海軍航空隊を中心に、大分の戦争に関する資料を展示し、戦争の“記憶”を見つめなおします。



宇佐市城井一号掩体壕



日出町回天神社の「回天」1/10模型

### 講演会「戦争遺跡の保存と活用 —戦争の“記憶”を遺し伝える—」

8月25日(土) 13:30~16:00

- 講演「戦争の歴史をどのように保存するか  
—大和ミュージアムの活動を中心に—」  
講師 戸高一成(大和ミュージアム館長)
- 報告1「宇佐地域の戦争遺跡の保存活動」(豊の国宇佐市塾)
- 報告2「日出大神回天訓練基地の保存活動」(大神回天顕彰会)

### 戦争を語り継ぐ会 (いずれも13:30~15:00)

8月1日(水)

9月8日(土)

宇佐海軍航空隊について  
大神回天訓練基地について

宇佐市糸口山造兵廠について  
新発見の県内航空隊空襲映像について

### 関連講座「大分に遺る戦争の“記憶”」

7月28日(土) 13:30~15:00

講師 安田晃子(当館学芸調査課長)

- 実施日時/7月13日(金)~9月17日(月)  
[開館時間]9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日/月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)
- 観覧料/一般300円 高校生・大学生150円  
小中学生および土曜日の高校生は無料
- 問い合わせ先/県立歴史博物館 TEL 0978-37-2100

## 特別陳列「姫島」

瀬戸内海に浮かぶ姫島は、「火山が生みだした島」です。姫島は瀬戸内海の重要な海上交通の拠点であり、生業として漁業や製塩を行い、姫島の魚と塩は大分県でも重要な産物でした。この展示は、黒曜石などの岩石や鋳物、漁具などの展示をとおり、自然と人間がおりなす、姫島の歴史と文化を紹介します。



姫島の全景



観音崎(国天然記念物)の遠景

- 実施日時/7月24日(火)~9月17日(月)  
[開館時間]9:00~17:00  
(入館は16:30まで)
- 休館日/月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)
- 観覧料/一般300円 高校生・大学生150円  
小中学生および土曜日の高校生は無料
- 問い合わせ先/県立歴史博物館  
TEL 0978-37-2100

## 夏休みの自由研究はおまかせ! 「図書館の本を使った 調べ学習講座」

- 実施日時/8月7日(火) 9:30~12:00
- 対象者/小学校3年生以上のお子さんと保護者、20名程度
- 参加費/無料
- 募集期間/定員に達し次第締め切ります
- 問い合わせ先/県立図書館 企画・資料課 TEL 097-546-9972(代)

毎年、どこから手をつけていいのか悩んでいませんか? テーマの選定から資料の集め方まで、そのコツをお教えします!



## 月曜日(第2・第4)も 県図書館は開いています!

本年度から県立図書館は第2・第4月曜日も開館しています。夜8時まで開館していますし、駐車場も無料です。帰りにちょっと寄ってみませんか?

- 開館時間/平日 9:00~20:00 土・日・祝日 9:00~17:00
- 休館日/毎月第1・第3・第5月曜日  
(月曜日が祝日のときはその翌日)  
年末年始(12月28日~1月4日)  
資料整備期間  
(本年度は11月26日~12月5日の10日間)
- 問い合わせ先/県立図書館 TEL 097-546-9972(代)

## プラネタリウム鑑賞会 のお知らせ

大分県教育センターでは、子ども・保護者など、天体に興味のある方々を対象に、天体観察会・プラネタリウム鑑賞会を実施します。(定員50名)

参加料  
無料

- 実施日時/天体観察・プラネタリウム鑑賞会  
8月18日(土) 19:00~20:30 (18:30~受付)  
プラネタリウム鑑賞会  
7月25日(水)、8月9日(木)、9月11日(火)  
16:30~17:15 (16:00~受付)
- 問い合わせ先/県教育センター 教科研修部 TEL 097-569-0227

## 平成24年度企画展 「備前焼がいっぱい!」 ~キミも焼き物博士だ!!~

室町時代末から安土桃山時代の豊後は、南蛮貿易が盛んに行われ、国際貿易都市として栄えていました。当時の町跡(中世大友府内町跡)や県内各地の遺跡からも南蛮貿易によってもたらされた品が数多く出土しています。

それらとともに、発掘調査で出土する日常生活容器の中で大きな比重を占めたのが国産陶器である「備前焼」でした。

今回の企画展では、県内各地の遺跡から出土した「備前焼」の中から主要な遺物や、その他の生活用具も展示します。

今回の企画展を通じて、郷土の歴史と文化に対して興味と関心を深めていただきたいと思っています。



中世大友府内町跡から出土した16世紀の備前焼各種

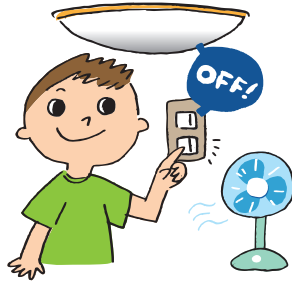
- 会場/先哲史料館展示室(大分県立図書館1階)
- 実施日時/7月14日(土)~8月26日(日)9:00~17:00
- 休館日/月曜日(祝日の場合は、火曜日)
- 対象者/一般県民
- 参加費/無料
- 問い合わせ先/大分県教育庁埋蔵文化財センター TEL 097-597-5675

# 今夏の節電にご協力ください

【取組期間】 7月2日(月)～9月7日(金)の平日 9:00～20:00  
(お盆期間8/13～8/15を除く)

## 家庭での節電メニュー

- 【エアコン】 室温28℃を心がける。  
緑のカーテンやすだれなどで窓からの日差しを和らげる。
  - 【扇風機】 無理のない範囲でエアコンを消して扇風機を使用する。
  - 【照明】 日中は不要な照明を消す。夜間の照明も必要な範囲にとどめる。等
- 平日お昼のお出かけ情報を大分県ホームページで紹介中



## 新設高校「校章(シンボルマーク)」募集!

平成25年4月に、山香農業高校と日出陽谷高校を発展的に統合し、現在の日出陽谷高校の校地に新設高校が誕生します。

この新設高校の姿を総合的に表現した「校章」を募集します。

応募用紙および詳細な応募要領等は、大分県教育委員会新設高校開校準備室のホームページからダウンロードしてください。

■募集期間 7月1日(日)～8月17日(金)  
■問い合わせ先/新設高校開校準備室  
TEL 0977-72-7047

## 視覚障がい教育相談会

大分県立盲学校では、視覚に障がいのあるお子さんやその保護者、学校等の関係者を対象に、巡回による教育相談会を実施しています。

1.相談の内容 視覚に障がいのあるお子さんの家庭での接し方、保育、教育、医療に関すること など。

2.日時、会場

該当市町村	日時・時間	会場
中津市、宇佐市、豊後高田市	8月16日(木) 10:30～	中津市教育福祉センター
別府市、日出町、杵築市、国東市、姫島村	8月17日(金) 10:00～	別府市総合教育センター
臼杵市、津久見市	8月20日(月) 10:00～	臼杵市教育委員会
大分市、由布市	8月21日(火) 10:00～	大分県立盲学校
佐伯市	8月22日(水) 10:30～	佐伯教育市民ホール「まな美」
竹田市、豊後大野市	8月23日(木) 10:30～	竹田市教育委員会
日田市、玖珠町、九重町	8月24日(金) 10:30～	日田市教育委員会

3.申込方法 現在、お住まいの市町村教育委員会にお申し込み下さい。

■問い合わせ先/大分県立盲学校 大分市金池町3丁目1-75  
TEL097-532-2638

## 聞こえとことばの教育相談会

大分県立聾学校では、聴覚に障がいのあるお子さんやその保護者、学校等の関係者を対象に、巡回による教育相談会を実施しています。

1.相談の内容 聞こえやことばが気になるお子さんの学校や家庭での接し方、保育、教育に関すること など

2.日時、会場

該当市町村	日時・時間	会場
中津市	8月16日(木)9:30～	中津教育事務所
宇佐市、豊後高田市	8月17日(金)9:30～	宇佐市教育委員会
別府市、日出町	8月20日(月)9:30～	別府市総合教育センター
杵築市、国東市、姫島村	8月21日(火)9:30～	杵築市役所山香庁舎
大分市、由布市	8月22日(水)9:30～	大分県立聾学校
臼杵市、津久見市	8月27日(月)9:30～	臼杵市教育委員会
佐伯市	8月28日(火)9:30～	佐伯教育事務所
竹田市、豊後大野市	8月29日(水)9:30～	竹田教育事務所
日田市	8月30日(木)9:30～	日田教育事務所
玖珠町、九重町	8月31日(金)9:30～	玖珠町教育委員会

3.申込方法

相談を希望される方は、8月3日(金)までに聾学校へ電話もしくはFAXでお申し込み下さい。

■問い合わせ先/大分県立聾学校  
大分市東大道2丁目5-12  
TEL 097-543-2047  
FAX 097-546-2111

## ～ここからスタート!新たな旅立ち～ 高等学校卒業程度認定試験

(旧大学入学資格検定)

文部科学省では、様々な理由で高校を卒業していないため大学等を受験できない人に対して、高校卒業者と同等以上の学力があるかどうかを認定する「高等学校卒業程度認定試験」を年間2回(8月・11月)実施しています。

### ■平成24年度試験日程

第1回試験日 8月 1日(水)・2日(木)(出願終了)

第2回試験日 11月10日(土)・11日(日)

(第2回受験案内配布開始 7月23日(月)から)

大分県試験会場 県立社会教育総合センター(別府市)

### ■県内受験案内配布場所

大分県教育庁社会教育課、県内6教育事務所、

県立社会教育総合センター、県立図書館

平成24年度の大分県での受験に関する情報等を県教育委員会ホームページにも掲載していますのでご覧ください。  
<http://kyouiku.oita-ed.jp/syakai/2012/03/post-22.html>

■問い合わせ先/大分県教育庁社会教育課 生涯学習推進班  
TEL 097-506-5526 FAX 097-506-1798

## おおいた教育の日 エッセーを募集しています!

### ●一般の部

テーマ「おおいたの子どもたちへ」

地域で生きる大人として、親として、自らの経験を通して次代を担う子どもたちの豊かな成長のために「伝えたいこと」「残したいこと」「願うこと」等の想いを綴ったエッセー

●高校生以上・一般の方…1作品400字詰め原稿用紙4枚以内

●小学生・中学生 …1作品400字詰め原稿用紙3枚以内 ※ワープロ原稿:A4版用紙に40字×40行

### ●小・中・高等学校・大学等の部

テーマ「わたしの心に残ること」

※特別支援学校、高等専門学校、専修学校、各種学校を含む。

学校や家庭、地域での暮らしの中で、強く心に残っている「人との出会い」「感動した体験」「忘れられない思い出」等を綴ったエッセー

応募資格/県内在住の方、又は大分県出身の方(ただし大分県教育委員会関係職員を除く)

表彰/副賞/大分県教育の日推進会議会長賞(各部門1点、図書カード2万円)

優秀賞(「一般の部」2点、「小・中・高等学校・大学等の部」3点、図書カード5千円)

学校賞(「小・中・高等学校・大学等の部」2点、図書カード3万円)

応募期間/平成24年7月1日(日)～9月7日(金) ※郵送の場合は当日消印有効

応募先/大分県教育の日推進会議事務局(大分県教育庁社会教育課内)

〒870-8503 大分市府内町3丁目10番1号

TEL 097-506-5526 FAX 097-506-1798

Eメール oita-kyouikunohi@pref.oita.lg.jp

平成23年度  
エッセー入賞者  
朗読の様子



詳しくは大分県教育庁社会教育課にお問い合わせ下さい。また、過去の入賞作品は、大分県教育委員会ホームページから「おおいた教育の日」でご覧になれます。

<http://kyouiku.oita-ed.jp/syakai/2012/06/post-6.html>

## 気軽に相談してください

大分県教育センターでは、教職員対象の研修・支援をはじめ、児童生徒、保護者に対しても相談や支援を行っています。

子どもへの対応について  
悩んでいませんか?

ご相談は 教育相談部

☎097-569-0829まで

いじめ、不登校、進路、適性、日常生活に関すること等で不安がありましたら教育相談部まで、ご相談ください。

子どもの学習面や行動面において  
不安を感じていませんか?

ご相談は 特別支援教育部

☎097-569-0232まで

見る、読む、書く、聞く、話す、推論することにつまずきが見られる。また、落ち着きがない、片付けができない、順番を待つことができない等の不安がありましたら、特別支援教育部まで、ご相談ください。

図書館・カリキュラムセンター  
(本館3館)を開放しています。

教科書展示会場大分中央センターとして、小中高の新教科書を展示しています。資料室には、昭和時代の教科書も所蔵しています。また、小・中・高等学校や特別支援学校、大学や全国の教育センターの教育資料等も所蔵しています。詳細は大分県教育センターHP上で検索できます。気軽にお立ち寄りください。

「学校の教育活動と保護者の  
子育てを支援します!」

■問い合わせ先/大分県教育センター  
TEL 097-569-0118(代表)  
FAX 097-567-2425  
<http://kyouiku.oita-ed.jp/edu-c/>  
e-mail:a31401@pref.oita.lg.jp